



校旗のもとに

学校教育目標
仲よく
本気で
最後までがんばる子

勝瀬小学校 三つの心「チャレンジする心 がまんする心 豊かな心」

1年間ありがとうございました…そして、次のステージへ 校長 藤井文則

3/1(土)に行われた、6年生を送る会は、コロナ前と同じように、全校児童が体育館に一堂に集まって開くことができました。ありがとうの気持ちを送る方も、受け取る方も、どちらも心のこもった出し物を披露する素晴らしい会となりました。6年生の保護者には教室でモニターを通して参観していただくという新しい取組にもチャレンジしました。

また、5年生が来年度の最高学年として、6年生を見送る「引継ぎ式」3/18(火)も、送る方も送られる方も、それぞれの立場をしっかりと自覚した素晴らしい式になりました。そして、3/24(月)の卒業式では、保護者、来賓の皆さんに、素晴らしい態度と返事、そして心揺らす呼びかけと歌を届け、新しいステージへと旅立っていきました。

卒業式式辞要旨 今年度も、たくさんのニュースがありました。皆さんはどんなニュースが心に残っていますか。パリオリンピックや、大谷選手の大活躍、日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞など明るいニュースがもくさんありました。その反面、大地震に見舞われた能登地方に追い打ちをかけるように記録的な大雨が降ったり、闇バイトなどの心配なニュースもたくさんありました。私が、最も印象に残っているのは、昨年の10月にアメリカのフロリダ州で、引きこもりの少年がAIから自殺をそそのかされ、実際自殺をしてしまい、その少年の母親が、AIを管理する会社を訴えるという事件です。また、12月には同じくアメリカのテキサス州で、チャットをする時間を親が規制しようとするなら、親の命を奪うことは合理的な判断だとAIが少年にアドバイスをしてしまいました。皆さんが大人になるまでには、AIをはじめ、様々な技術が進歩し、今では想像もつかない技術革新が起こるかもしれません。しかし、どんなに技術が進歩しても、それを活用するのは人間の心です。人間の心が退化したり、悪い方向に向かっては意味がないですね。皆さんがこれから出会うであろう先進技術を活用するときに、勝瀬小で皆さんが手に入れた、豊かな心をいつも忘れないでください。毎日の生活で中で身に着けた、自分も周りの人も大切にしようとする心、人にも物にも自分から感謝する心、苦しい時に助け合う心、それが皆さんが生きていく未来をより良くするカギだと私は思っています。

中学校という次のステージに進む皆さんですが、決して中学校0年生にはならないでください。小学校で積み重ねてきたリーダーとしての経験を忘れないでください。中学生にな



ってリードしてくれる先輩達をどのようにフォローすればいいのか、1年生として学校全体を盛り上げるにはどのように行動すればいいのか、1年間勝瀬小のリーダーとして、経験してきたことを思い出せば絶対に0にはならないはず。勝瀬小で手に入れた自信と誇りを胸に次のステージでワンランク上の活躍をしてください。(後略)

3/26(水)本日の修了式では、子供たちに「三つの心」について振り返ってもらうとともに、宿題を出しました。それは、新しいクラスをよくするために自分ができることは何かな…と、春休み中に考えてもらうことです。子供たちが、新しい学年で新しい自分を発見しよう、出直そうとする力は大人が考えるよりも大きな大きな成長のカギです。新しい学年、新しいクラスでのはじめの一步が、大きな大きな一步となるよう、春休み中にお声掛けいただくようお願いいたします。本年度も、勝瀬小の保護者の皆様のご支援、ご協力のおかげで大過なく1年を終えることができました。来年度も、子供たちの成長を第一に考えた教育活動を押し進めてまいりますので、どうぞよろしくようお願いいたします。教職員一同、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

